

道徳教育を
学校・家庭・地域で

わたしたちは
おはよう・ありがとう・どうぞ
のいえる伊達小の子どもです。

学校校舎前庭に掲げてる看板より

道徳通信

こころ「心」

今年度も「道徳教育」の充実
で豊かな心を育てます！

今年度も、本校では自分をじっくりと見つめ、心の奥で思っていることを、行動に移すことができる子どもを育てるために「道徳教育」を学校経営の重点においています。

今年度から道徳の時間は教科となり、検定教科書を使つての学習となりました。「道徳科」となっても、学校が大切にしていく根幹の部分に変わりはありません。あくまでも、子どもたちの「豊かな心」を育てていくことになり、授業の中で、大切にしていく本質については変わりません。

伊達小学校の学校経営の重点である「おはよう・ありがとう・どうぞ」が自然と言える子どもたちを育てていけるよう、「心」を育てる道徳教育を、今後も大切にしていきたいと思ひます。

また、この道徳通信を活用し、学校で行つている道徳の時間の授業の様子や、道徳の時間に使つている教材に記入した子どもたちの考えや感想をお伝えできればと考えています。

あとがき

直木賞作家の伊集院静さんの若者へのメッセージが強烈に印象に残っている▼その一つが「人より早く起きなさい」▼今までの自分の時間の使い方を変わることが、生き方を変える始まりだ、と語る▼また「人の倍勉強し働くこと」の大切さも強調。土日は休みだなんて考えているは駄目。土日にしか学べない事があるはず、とも▼震災があり、被災していない地域の若者は、復興のためこれまでの倍は働く決意が大切との思いから、その言葉は出ていた▼振り返って自身はどうか…胸を張るにはまだまだと痛感▼「自己の生き方についての指導を充実」させることは、道徳教育上配慮すべきことの一つ。「こう生きなさい」ではなく、「どう生きるべきなのか」と自己を見つめる道徳教育を、教育活動全体で進めていきたい。

社会のルール 公衆道徳

大丈夫？

Wi-fi通信ができる市内の場所をご存知ですか？（道の駅など）通信ができるゲームをもってそこに集まり、ゲーム機をしている子がいるようです。

明らかな公衆道徳違反です。学校でも「生活指導」をしています、それが「道徳的ではない行為」であることを学ぶ道徳教育も大切です。

学校・家庭・地域で「校外生活」も見ていきましょう。

発行年月日
2018年6月4日
(第1号)

発行元
伊達市立伊達小学校

編集者より
ひとこと

今年も、保護者・地域の皆さんに道徳の時間の授業をみていただくよう1年に1回はいずれかの参観日で公開していきます。

この「こころ」や参観日を通し「道徳」をいろんな視点から考えるきっかけになれば…と思っています。

ご質問等は、気軽に本校道徳教育推進教師（小林）まで！

